

## 平成 30 年度第 2 回二宮町総合教育会議 会議要旨

開催日時	平成 30 年 8 月 17 日 金曜日 13 時 30 分から 15 時 15 分まで
開催場所	二宮町役場 2 階 第 1 会議室
出席者	村田邦子町長、府川陽一教育長、原道子教育長職務代理者、 吉田美佳子教育委員、岡野敏彦教育委員、山内みどり教育委員
教育委員会	教育部長、教育総務課長、教育総務班長
その他	傍聴 5 名

※会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

### 会議記録

#### (司会・教育総務課長)

皆さん、こんにちは。13 時 30 分定刻となりました。ただいまから、平成 30 年度第 2 回二宮町総合教育会議を開催いたします。開会にあたりまして、本会議の公開、傍聴についてお諮りさせていただきます。本会議は、平成 27 年 4 月 1 日に施行された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四に基づいて開催いたします。この条文の中では、「総合教育会議は、公開する。」とあります。また、平成 27 年度第 1 回の総合教育会議において決めました「二宮町総合教育会議設置要綱」第 6 条においても「会議は、公開する。」とあります。本日は、傍聴希望の方がいらっしゃいます。皆様、公開、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

— 許可 —

#### (司会)

では、許可をいただけましたので、傍聴の方をご案内させていただきます。

— 傍聴者入室、着席 —

#### (司会)

傍聴の方が全員入室されましたので、再開いたします。本日は、報道関係者が取材のため入室されています。出席者の皆様にお諮りします。報道関係者の取材のための写真撮影を許可してよろしいでしょうか。

— 同意 —

(司会)

出席者の皆様の同意をいただきましたので、写真撮影を許可いたします。報道関係者の皆さん、ただいまのお話のとおり、報道関係者の撮影が許可されました。写真撮影にあたっては、会議の進行や他の傍聴の妨げにならないよう、フラッシュや操作音などに、十分にご留意ください。

それでは、次第の 2、町長挨拶です。村田町長、お願いいたします。

(町長)

みなさん、こんにちは。まだまだ暑い日が続いています。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。さて、第 2 回総合教育会議ということで、今日の協議事項においても前向きな議論をしたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。続きまして、次第の 3、協議・調整事項に入ります。

それでは、ここからは、二宮町総合教育会議設置要綱の第 4 条に基づきまして、村田町長が議長になりますことから、会議の進行をお願いしたいと思います。

(町長)

それでは、議長を務めますので、よろしくをお願いいたします。では、協議・調整事項の(1)二宮町教育大綱の改定について、少しお話させていただきます。お手元の、二宮町教育大綱(改定案)をご覧ください。

まず、この大綱の位置付けを皆さんと確認したいと思います。大綱については、国の教育振興基本計画を参考にしながら、町の総合計画に則して、平成 27 年に策定しました。また、教育の具体的な取組み内容については、毎年、教育委員会で策定する、教育委員会基本方針を定めて進めている所ですので、大綱については、引き続き、町の教育の方向性をわかりやすく示すものとして、定めていきたいと思っております。

この教育大綱は、文字通り、大きな綱、おもと、ですから、今回の見直しでは、大幅な変更ではなく、時代や社会の変化に応じた必要な改定を考えています。資料の波線部分が今回の見直し箇所です。まずは、大綱の期間です。平成 31 年度から 4 年間を考えています。これは、第 5 次二宮町総合計画の後期基本計画と連動させていこうということで改めさせていただきます。

次の、大綱の基本方針の 2、落ち着いた学習環境と未来を見据えた教育環境づくりを進めます、の、2 つ目の黒丸の箇所に、新しい時代に相応しい能力を身につけられるよう、と加えるものです。これは、小中一貫教育校を進める上での整備や、新学習指導要領での ICT 機器整備などといった、教育環境の整備、充実にしっかりと取り組みたいと、この一文を加えることにいたしました。

小中一貫教育校の研究は、先月第 1 回の研究会が終わりました。今後、議論を深めていくわけですが、ハードウェア面についても、必要に応じて、しっか

り取り組みたいと考えています。また、ICT機器整備に関しては、今年度の導入を受けた活用の研究、そして、その次のステップでの整備を進めるものです。このような教育環境、学習環境の整備については、第5次二宮町総合計画の後期基本計画でも取り上げることで、連携して町の教育を充実、前進させていきたいと考えています。

以上の2点を改めさせていただきたいと思いますが、皆さんから、ご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

**(教育長)**

町長がお話された、新しい時代に相応しい能力、についてですが、学校教育において具体的に挙げると、英語教育、情報活用能力、そして、論理的思考力、これについてはプログラミング教育に限らないと思います。さらに、コミュニケーション能力、この4つについて取り組んでいきたいと思いますが、みなさんいかがでしょうか。

**(原委員)**

教育長から具体的な取組みについて、お話しいただきましたが、この内容を2の中に加えた理由を教えてください。

**(町長)**

2は、主としてハードウェアを取り上げている中で、整備関係で盛り込みました。もちろんハード整備だけで良いものではありません。当然1と連携しているものであり、総合的に取り組んでいこうというものです。

**(原委員)**

教育長の挙げられた4つの能力についてですが、例えば英語教育ですが、どういったハード整備をお考えでしょうか。

**(教育長)**

英語教育に限りませんが、教室へのインターネット環境整備、といった部分がつながっていきます。2のカテゴリは、予算的な措置も含めた意味合いと伺っています。

**(吉田委員)**

カテゴリ2に、施設、と表記されています。教育環境の整備を進めることを記載するのは素晴らしいことだと思いますので、施設、という言葉だけで表現するのではなく、もう少し幅広い表現を用いてはいかがでしょうか。

**(町長)**

たしかに、施設、という事だけだと、言葉から受けるイメージが限定的になってしまうかもしれません。文字面から抱くイメージがあるので、言葉の選び方加え方を検討します。

**(山内委員)**

落ち着いた学習環境、という部分については、基本的な学校生活の部分に関わる、安全安心という部分があり、その上に、新しい内容を加えていくことに

なるのではないでしょうか。

**(教育部長)**

当初策定した内容の意図は、将来的な小中一貫教育や統廃合の検討を見据えたものです。そこに今回の言葉を加えたという所です。

**(原委員)**

言葉を付け加えるのではなく、分けた方がわかりやすくなりませんか。

**(岡野委員)**

ハードとソフトを分けて話していますが、土台と柱という分類を意識しながら組み立てていくと、安全、安心の視点でみた学校運営の基盤に関わる土台部分と、その環境のもとで、二宮らしい教育の特徴出しができる教育システムの柱を立てる二段構成とするとわかりやすくなると思います。

**(町長)**

わかりやすさという点を考えて、では、従来の部分はそのままに、別に一文を付け加えて考えてみたいと思います。文言を整理して、次回の会議で改めてお示しし、取りまとめていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

では、次第の次、その他についてです。少しお話させていただきます。今年の夏は酷暑が続いています。今、学校は夏休みではありますが、7月までは暑い中での授業になったのではと思います。この暑さは、今年だけでなく来年以降の夏も続くと思込まれます。その中で、これまで小中一貫教育の推進や施設再配置検討後に予定していた、学校、特に普通教室への空調導入についてですが、早急な対策が必要と感じ、今後の対応について検討を教育総務課に指示し、報告を受けたところです。事務局から、その内容について説明をお願いします。

**(事務局・教育総務課長)**

説明させていただきます。まず、来月、2学期の対応についてです。学校においては、休憩時間の十分な確保や、体育など体温が上昇する授業の組み換え、空調設備を整備した特別教室での授業への活用に取り組みます。

また、すでに各教室には扇風機が設置されておりますが、学校からの要請があれば、町から追加の扇風機を各校に貸出し、暑さ対策の一助とします。

なお、学校から、家庭に対して、食事や睡眠などについて規則正しい日常生活を心がけていただくとともに、子どもの健康観察に留意していただき、無理をさせない対応をお願いする通知を出す予定です。

つづいて、来年以降の暑さに対する取り組みです。まず、空調設備の設置状況です。文部科学省が平成29年に実施した調査によると、全国での小中学校の普通教室における空調設備の設置率は、49.6%です。都道府県別にみますと、神奈川県は、79.0%になります。

県内の市町村では、政令市や、県央地域の自治体を中心に整備が進んでいる一方で、県西の自治体や二宮町が、普通教室の整備率が0%となっています。

次に整備を進めている近隣自治体の状況です。平塚市では、この7月に小学

校普通教室の整備を終えました。リースによる導入で、517教室に20億円近い予算を投入しています。数年前に導入した秦野市では、工事により導入し、211教室に、約3億9千万円で設置しています。一方、小田原市などについても、取り組みを進める方向で検討を開始したという報道もある状況です。

工事費用については一概には言えませんが、学校はもともと多数の教室への空調設備導入のような大規模な電力使用を想定しないので、電気設備関係も含めた大掛かりな改修となるため、二宮町の場合、5校で約100教室という想定に対して、数億円の費用が想定されます。先ほどの平塚市や秦野市においても、一校あたり4,000万円から7,000万円程度と差があるため、工事内容や工事費については、専門家により、設備状況の調査や工事費の積算を行うなど、いわゆる設計業務を行う必要があります。

この工事費用については、一方で、報道にもありますとおり、国において、空調設備導入に対する補助金の拡充が検討されています。二宮町においても、本補助金を活用する形で導入したいと考えています。2学期及び来年以降の暑さ対策については以上となります。

#### (町長)

今説明がありましたが、私の思いとしては、空調導入を進めていきたいと考えていますが、ご意見がありましたらお願いします。

#### (吉田委員)

まず、9月からの2学期の対応について、よくわかりました。7月に学校を訪れたとき息苦しいぐらいの暑さで、子どもたちはもちろん先生方もこの中で授業が行われるのは相当大変だと感じました。学習環境という点からみても、非常に厳しい状況にあると思います。まずは、学校でできる取り組みをお願いするとともに、児童・生徒一人ひとりに対するきめ細かい配慮をお願いしたいところです。そして、来年夏の暑さ対策についてですが、普通教室に空調設備を整備する、という方針でしょうか。

#### (町長)

まず、2学期のお話ですが、校長会においても、きめ細かい対応をするよう確認されたと聞いております。子どもたちの命と健康に関わる問題ですので、しっかりと取り組みたいと思います。来年以降の夏の暑さ対策については、具体的には9月議会に、調査設計委託を行う補正予算を提案したいと考えています。工事費用への国の補助金については、まだ明確な状況がわかりませんが、県などを通じて働きかけを進めていきたいと思います。工事については数カ月以上かかる見込みもあるようですので、学校の協力、保護者の理解を得て、長期の休みや授業中でも工事をさせていただき、なるべく早期の導入をしたいと思います。

#### (原委員)

2学期の対応についてですが、町内の中学校では授業時数確保のために今年も

夏休みを数日減らしています。9月になれば涼しくなるとは必ずしも言えないと思いますが、夏休みの延長などの検討はいかがですか。

**(教育長)**

校長会でも検討しましたが、教育課程が過密なこと、気温状況の見通しがわからないこと、また、それぞれの家庭の状況も考えると、夏休みを延長するのは難しいというのが正直なところだと思います。半日で下校する短縮授業も検討しましたが、暑い日中に下校させることとなります。先ほど説明にもありましたが、休憩時間の確保や、きめ細かい対応を進めていきたいと考えています。

**(原委員)**

町長のお話にもありましたが、命や健康に関わるものですので、臨機応変な対応が必要な時だと思います。

**(教育長)**

お話のとおり、非常天変、異常な高温が考えられるときには、台風のような気象災害への対応と同様に、柔軟に対応していきます。

**(町長)**

緊急的な状況については、ご家庭への負担感という課題もありますが、しっかりとした対応を、学校や教育委員会と連携して取り組みたいと思います。

**(岡野委員)**

まずは空調導入の決断をしてくださったことに感謝申し上げます。空調導入を確実に取り組むには予算の優先順序があると思います。町には教育以外にも様々な課題があると思いますが、予算確保に向けて天秤にかけるとなると教育関係の予算にならないよう十分にご配慮いただきたいと思っています。

**(山内委員)**

空調導入、本当にありがたいと思います。町でも毎日のように高温注意情報の放送があり、報道でも注意喚起されています。ぜひ導入をお願いしたいと思います。空調が入ることで教育課程の幅が広がると思います。活用についても検討を進めていただければと思います。

**(町長)**

しっかりと取り組んでいきたいと思っています。費用の面では、工事もさることながら、電気やガスの光熱水費や、また保守点検に要する費用など、今後継続的に生じるランニングコストも大きな課題です。そうした課題も検討しながらではありますが、早急に、スピード感をもって取り組んでいきたいと思っています。

**(原委員)**

空調設備の導入には大きな費用が必要だと理解しています。導入のためには、減らしていかなければならない事業もあると思います。難しい課題だと思いますが、よろしく願いいたします。

**(吉田委員)**

町長から、ランニングコストのお話があり、導入後に毎年生じる費用について

て改めて考えさせられました。空調設備を導入することにより教育課程に幅を持たせることが出来、集中して授業に取り組める環境になると思います。子どもたちの健康を最優先とする町の姿勢が町民に伝わるとと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

**(町長)**

この暑さは、大人でも厳しい状況です。しっかりと取り組んでいきたいと思  
います。それでは、本日予定していた協議・調整事項はすべて終了いたしま  
した。次回日程の説明をお願いします。

**(司会)**

今回は、平成31年1月18日(金)13時30分からとなります。次回もよろし  
くお願いいたします。

**(町長)**

それでは、これをもちまして、平成30年度第2回二宮町総合教育会議を閉会  
いたします。ありがとうございました。

以上